

共生社の便利堂講演会に行って

グリーンコープくまもと共生社で、お年寄りの生活用品店「銀ちゃん便利堂」をされている浜田きよ子さんを京都から招いて講演会がありました。

センターからも参加させていただきましたが、本人の自立を助けるものを、プライドを尊重して、高価なものがよいとは限らないなどの視点に共感を覚え、とても勉強になりました。

緒方 健一

2月16日に県立劇場地下会議室で、浜田さんが便利器具についての講演されました。まずオムツとパンツの事についての話でした、お年寄りや障害者や介護者の方に使用しやすいようにオムツもパンツも工夫して作ってある見本をもって説明がありました。僕は、使うにはちょっとイヤな気持ちになりましたが、いざ何も出来なくなったら使用してるのかなあーとも考えたりもしました。

次にお風呂に入る時に一番良い深さはと言う項目でした。まず「60センチ」「55センチ」「33センチ」のうちどれが一番入りやすいかと言う質問でした。一番多かった答えは、「55センチ」でした。その次に多かったのは「33センチ」で「60センチ」は少なかった。僕は、「33センチ」が入りやすいと思った。なぜかと言うと、そのまま入れるからと言うこととまたがらないでいいからと思っていたのですが、違っていました。正解は、「60センチ」でした。なぜかと言うと体を前にして立ちやすいから、それに介護する時にしやすいからと言うことでした。「33センチ」は、浅すぎて危ないと言うことでした。次に「55センチ」は、体がななめになっているから上がりにくいし介護もしにくいということでした。

次にベットの事についてでした。浜田さんが実際ある老人ホームに行かれてびっくりされたことがあったそうです。それは、病気以外の人は、座らせて訓練をしていたと言われて、寝たっきりにさせないためにだと思いました。浜田さんは一週間ぐらい一緒に生活されたそうです。ベットの高さが45センチが一番普通と言われました。そんなもんかなあと思いました。

次にオムツ、パンツ、お風呂、ベッドの製品とまだ紹介してない物をスライドで上映し、説明がありました。分かっている事もありましたけど、分かっているでもまちがっていましたので、僕にとっても勉強になりました。

特集

今度の選挙は

絶対

見逃せない!



県議会議員候補

宮崎 新二郎

私の抱負

- ①全ての子どもが人として大切にされる教育をめざします。
- ②全ての県民が生き甲斐を持てる福祉県政をめざします。
- ③働く女性の子育ての条件を整えます。
- ④くまもとの美しい自然を守り育て未来に残します。
- ⑤県政に良識とモラルを取り戻します。

手取本町の県同和教育研究協議会の事務局には、ホープ印刷の仲間たちの出入りが絶えませんでした。印刷物の注文などの本業の他に、「障害」児・者の就労や、研究会の立案、検討などでいっしょに協議することが多かったからです。

そのうちに倉田君や池田君たちが訪れるようになってから、就労の途を閉ざされた人たちの社会的自立の問題が大きくクローズアップされることになりました。

重い障害と共生する人たちの生きる道、働き場を創り出していくことは困難そのものであったが、倉田君たちは粉せっけんの販売や、書籍の販布に積極的に取り組み、やがて障害者労働センター設立にこぎつけた。そのひたむきな努力は、県同教事務局の人々に感銘と勇気を与えるものでありました。

私が県議立候補の決意を固める大きな理由のひとつに、障害者の働き場と共生の場を保障するという課題をあげています。それは、倉田君たちのがんばる姿から学んだことに外なりません。県同教が開く会合だけでなく教職員組合の諸会合にも、会場の一隅には必ず労働センターの物品販売のコーナーがあるまでになりました。その橋渡しの手伝いをさせてもらったことは、いささか私の誇りとするところでもあります。

4月には、統一地方選挙が行われます。今度の選挙には、これまでセンターを支援してくださった方々が、熊本県議選・熊本市議選に立候補を予定されています。

私たちの声を県や市の行政に届かせることができるチャンスかもしれません。一人でも多くの人に候補者のことを知ってもらって、そして今度は絶対に投票に
いこう！



開かれた市政をめざして

皆さんの生活の中の
“子どもの保育と教育”
“高齢者の福祉と雇用”
“パート賃金の低さ”
“女性の社会参加” “生
活環境” “ゴミ” などの
問題。いつ、誰が、どの
ように解決してくれるのでしょうか。

生活者最優先の 市政を

私は今、大きな不安と疑問を持っていると同時に、それに対する熱意をふくらませています。

2人の子の母として、妻として、家庭を預かる主婦として、そして働く女性として無我夢中の日々。そのかわりPTA、町内会、生協活動や牛乳パックのリサイクルなどの市民運動に私は積極的に参加してきました。

日常生活、市民運動を通し、皆様と同じ立場で、私は①安心して暮らせる生活者最優先の町づくり②大きな夢を子どもに与える教育③弱い立場の方への手厚い福祉を実現するため、市議会議員選挙にチャレンジします。

ご支援をよろしくお願いします。

私のめざすもの

〇環境へのいたわり

ゴミ減量・資源リサイクルを推進するとともに、熊本の水と緑を守ります。

〇やさしい街づくり

お年寄り・体の不自由な人も安心して暮らせる生活者最優先の街づくりを推進します。

〇おもいやりのある教育

創造性豊かな夢を育む教育を推進するとともに、学校給食の改善や図書室の充実に努めます。

〇輝く女性

パート賃金の引き上げ・育児・介護休暇の整備等に取り組み、女性の社会参画を推進します。

〇市民のための市政と議会

市民本位の市政を実現するため、開かれた分かりやすい市政と、市民の声が反映される議会をめざします。

小山 久子

現在の主な活動

- 全国牛乳パックの再利用を考える連絶会
熊本県ネットワーク代表
- 武蔵校区第2町内自治会長
- 環境ネットワークくまもと副会長
- グリーンコープくまもと共生社熊本北総代
- くまもと21・労組会議地域生活局
- 熊本障害者労働センター運営委員
- 労働金庫レディース会会長
- くまもと高齢化社会をよくする女性の会
- 子どもの権利条約熊本の会世話人
- 定時制の灯を消すな熊本県民会議事務局員
- 熊本市学校給食を良くする会代表

(ほか)

「車いすを市議会へ！」というスローガンで戦った前回の友村選挙から早いもので4年の月日がたっていました。投票所まで足を運び2802人もの人が「友村年孝」という名前を書いてくださいました。約300票余足らず当選することはできませんでしたが、私たちの「車いすを市議会へ」送ることにしっかり共鳴して下さった多くの人たちがいらっしゃったという事実は、本当に素晴らしいことでした。今度も友村さんに再チャレンジをして欲しいところですが、体調がそれを許さず強く辞退されました。

そこで人こそ変わりますが、友村さんからバトンタッチを受け、私こと“村上博”が出馬する決意をかためました。前回、果たすことができなかった“車いすを市議会へ”という願いは、友村さんや熊本の多くの障害者や支えて下さった市民の心の中にまだ赤々と燃え続けていると信じています。

人は年齢を重ね、色々な条件の変化の中で最終的には障害という条件を背負う人が多くなります。これまで一生懸命社会を支えてきた人たちが、障害という条件が加わった途端、まったく生きにくい状態に直面し途方にくれ、当時者やその家族がそのまま地域の中で、地域と関わりを保ったまま生活していくことがとても困難です。

しかし、現在の行政のバックアップ策はとても不十分です。その為に家族や地域と離れて人生の後半を生きなくてはならない例も多く見たり聞いたりします。そうであっても本人も周囲も「しかたない」とあきらめてしまいます。私はそんな時、地域の中で家族や仲間と共に生きていけるよう24時間介護制度やノ



「村上博となんさま福祉」

村 上 博

- 24時間の介護体制を確立します。
- 誰もが使いやすいノンステップバスを導入します。
- 地域で生き生き学べる教育環境作りを進めます。
- 学校を市民に開かれたものにします。
- すべての人々の人権を保障する政策を進めます。
- 「平和憲法」に基づいた国際都市作りを進めます。
- 安全な地下水を守ります。
- リサイクル社会を確立します。
- 住んでいる町で安心して受けられる在宅医療を確立します。
- 市政をチェックするオンブズマン制度を導入します。

ンステップバスや電車導入を実現させ、いくつになっても明日に希望と夢の持てる社会を創るために全力を尽くします。どうぞ皆さんもこの輪に加わって応援してください。前回より立候補予定者が10人も少ない少数激戦の苦しい戦いになっています。どうぞ皆さんの力を貸して下さい。これから新しい福祉を創るために議会に車いすを！



熊本市議会議員

東 すみよ

二期目の挑戦にむけて

桜の便りが聞かれる様になり、ひと雨ごとに暖かさを増しているこの頃です。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。1月17日の阪神大震災においては多くの犠牲者を出す事となりましたが、中でもお年寄りや、身体の不自由な方たちの犠牲が多かったのは本当に心痛む思いです。亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈りいたします。

私も4年前にご支援を受け市議会の一議席を得て活動してまいりました。この間、本会議の中では四回の質問に立ち、「教育民生委員会」や「長寿社会特別委員会」に所属し、主に教育、福祉の問題に取り組んでまいりました。私も3人の子供を持つ母親として、また年寄りを抱える主婦として女性の側からの議会活動で頑張っ

てまいりました。男性議員優位の中、56名中の一女性議席を是非とも守っていきたいと思っています。今議会の質問では、「子どもの権利条約」を学校教育の中で取り組む時の姿勢を正しました。お互いの権利を認め合う、人権学習の大切さは小さい時からの教育の場で確立しておかなければなりません。いじめや、差別をなくし、共に助け合っていく社会をつくりあげたいものです。議会の中でも「障害者基本計画」策定にむけての市長の考えを問いましたが、障害を持つ者も、持たない者も平等に暮せる社会づくりの計画的な推進のために取り組んでいきたいとの答弁がありました。また、本年度中に策定する「やさしいまちづくり総合計画」の中で、すべての市民が人間として尊重され、生き生きとして暮せる街づくりを基本としソフト、ハード両面にわたるバリアフリーに取り組む姿勢が強調されていますが、あとは、あらゆる方面からの検討、チェックをしていくのが私たちの役目だと思っています。市民の声を大切にしていきたいと思っていますが、二期目の挑戦に向けて皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



（カット：松永敏子）

作業所日誌から

あきた共同作業所所長 下山 巖

この様な催しに主催者が一番心配するのが、その日の天気と人の出足であろう。しかし、10時開会と言うのに快晴・暖冬・それともPRの効果か人の出足はすこぶる好調、安堵の胸を撫でおろす。会場・作業所は仲良しグループのいちぢく会の人達により清掃も済ませ、定刻10時いよいよ開会だ。感極まった所長（私）の挨拶、障害を乗り越え絞



り出すような声で宣誓する入江所生・参会者の中から感泣とも思われる声・またその後には頑張れよとの声と共に万雷の拍手、生協南支部の蟹畑理事長さんによる看板の除幕式と一連のセレモニーも終り販売開始、PR文書、口コミにより、多くの人達から寄せられた善意の品々も、いち

ぢく会の人達の威勢の良い掛け声、不慣れな手つきで一生懸命販売するボランティアの人達により珍品、奇品、生鮮野菜等も羽が生えて飛ぶような売れ行きで品不足気味、労働センター職員の、重度障害にもかかわらず健常者に混じって必死に生き、販売するその姿には共感を呼んだものでありました。

又、生協南支部の職員さんによる「はがきができるまで」の飽田南小学生による紙すき体験・廃油による「石けんができるまで」の私の実演に、答えきれないような沢山の質問が出る始末。その体験の感想文が寄せられたが、機会があれば紙上紹介させて頂きたいと思っております。

このように開所記念ハザーは多くの人達の支えにより大盛會に終わり初期の目的を達成することができましたので、次のようなお礼状を関係者に発送して事後の処理も致しました。

各位 様

今年もいよいよ年の瀬を迎えました。何かと心忙しい事と思っております。

扨て先日の開所記念バザーには、皆様から数々の名品、珍品、新鮮野菜等を拠出して頂きまして誠に有難うございました。当日は、天候にも恵まられまし

て、バザーも盛会裡に終わり期待いたしました収益を上げることができまして、皆様のご温情に感謝している次第であります。

尚、収益金につきましては、関係者の方々と相談のうえ作業所の施設の充実および所生達が生きいき楽しく働く環境づくりに役立てたいと思います。

約2年前から所生一人と細々と営んでまいりました作業所も関係者の応援を受け今では、5名の所生が入所して、伸び伸びと働いております。ともすれば、閉鎖的になりがちなこの所生達が、願わくば何時でも、何処でも、誰とでも明るい笑顔で地域の皆様と接するよう指導していきたいと思っていますので、どうかひとつ今後とも暖かい眼差しで見守って頂きたいと思っています。

そして当作業所についてもお気付きの点がございましたら、よろしくご指導のほど伏してお願いいたします。

甚だ勝手乍ら書面でのお礼の言葉といたします。

平成6年12月7日

あきた共同作業所所長 下山 巖

杉村隆夫・西村明男

作業所所生一同

12月22日(木)晴れ、今日は1年の納めの忘年会で朝から所生達も大張りきり。開会のセレモニーの役割も午前中に決まる(当日の作業所日誌より)。

労働センター職員、生協南支部の皆さん、保健婦さん、ボランティアの人、役員さん等総勢18人で話はずんだが役員さんの自慢話が多過ぎて主役の所生の影が薄れる始末で、次回からは真に所生達が喜ぶ忘年会にせねばと反省の念しきりであります。

1月19日(木)晴れ、本日は作業所の県外研修日である。作業所の行事開催日は晴天ばかりで何かしら天の神に見守られている感で嬉しいばかり(当日の作業所日誌より)

午前7時30分作業所を出発して、車は一路前原市のたんぼ作業所へとひた走る。菊水インターからかろやかなエンジン音を響かせ乍ら高速をぶっ飛ばすこと70分。車は福岡都市高速路へ入ると、博多湾から能古島等が視界に入る絶景の眺望、相撲で知られるスポーツセンター、ダイエーホークスの福岡ドームが左眼下に見える。所生達の喜ぶ姿に思わず胸がほころぶと思ったところで信号停車、青信号で発車したところ異様なエンジン音で車は止まる。押しても引いてもエンジンは起らず、モーターズを呼ぶ。修理不能の宣告を受けて研修中止のやむなきに至る。

遠乗り際に車の整備点検を怠ったが為に所生達に迷惑をかけ、初期の目的が果たせられなかったことが悔やまれてならない。次の機会には素晴らしい研修である

ように周到な計画を練りながら所生達と楽しく働いています。

幼い時に小児喘息で体が弱く1年遅れて就学するというハンディを持った自分であつたので、長生きできたら余生を障害者の為になろうと夢見ていました。此の世に生を受けて60年。会社定年まで生かされて、その夢が多くの人達に支えられて実現しそうであります。

私の持論は『笑は健康の源』であります。ともすれば沈みがちなのが障害者であります。私は珍談、奇談、或いは頓智をいって所生達と過ごしております。毎日が楽しくございます。願わくば多くの方々の善意と協力を終生忘れず障害者と過ごしたいと思っております。そして障害者が活き生きと地域の中に交わって、笑いの絶えない作業所づくりに精励していきたいと思っております。

拙い書きものでありますが機会があつたら又書かせて頂きます。有難うございました。

（作；松田美知子）



阪神大震災で亡くなられた方々の御冥福をお祈りいたしまして、一日も早く復興いたしますこと願っています。

おてもやんだより

松田 美知子

先月の23日交通センターでおてもやんに出会い、とても感激した。文房具から湯飲みに至る迄おてもやんずくめ、私の漫画がないのが物足りなかった？くらいで耳かきを買った。そのおてもやんを見ながら書く漫画は楽しく、ついギャグを多く考えてしまった。そして、こんな形で愛されているおてもやんを書いている事にちょっぴり誇りを感じます。

さて立春とはいえまだまだ寒い日が続いて、外へ出るのはおっくうで通勤の方に同情してしまいます。おまけに雪まで降って立春とは暦の上だけね。眺めていますと庭につくしがかわいい芽をふいて、改めて春だなと思ったりもします。そして、寒さに震えながらテント暮らしを強いられる神戸の人達に早く仮設住宅を作ってやって欲しいと願わずにはいられなかった。こんな事になると弱い立場、年寄りや障害者、外人が一番しわよせを受けることが心配、救援金が公平に行き届きますように、そして、早く立ち直って元の神戸になることを望んでいます。この災害で活躍するボランティアの方々の労をねぎらい、大学の単位を出すと決定してくれたことが喜ばしくもあり、これで今まで留年までして頑張った方の苦労も報われます。

昨日、私は危く事故にあいそうになりました。勿論、無傷でしたが、一たん停車する場所で車が止まらず、私のブレーキもあまかった為に起きたのだが、相手がドアを開けたのに声もかけずに去った。私も「車の番号を覚えとくのよ」と友人のアドバイスも役にたたず、がたがた震えてた。もし女だったら「謝りなさい」ぐらい言っていたかもしれない。ヤクザだったらどうしようで、口を動かすが声にはならず、後で腹だたしくなり市役所にかけこんだ。手話通訳が知った人だったので、聾話者の方はどうされています、さあ知りませんにがっかり。機会があれば、どうされるか聞きたいと思います。又言語障害を強く感じた。

いつも、お邪魔する東高の図書館で星野さんの絵を見ると描かれている花の美しさと詩のすばらしい生命力に深い感動する。「星野さんはプロよ。あなたの漫画はなに、下手くそじゃない」先生に悔しさ混じりに「口で、これだけ書けるのは立派、だけど色が悪い」いい色もあるな。下絵もなく書くのは長年の熟練だけ、洋画より難しい気もする。

典子に代表されるサルドマイド児も器用で足で字を書く、これは猿が芸をするより技術力がある。コンパスも使えなかった私には羨ましかったくらい。なんでもできる人と落ち零れに類する私は悪口ばかり言うので憎まれてしまうと反省する日々です。

障害者労働センター交流会に初めて参加して

グリーンコープ共生社西原地区 片岡 みえ子

1月30日肌をさすような冷たい朝、自転車をこいで労働センターへ。そこはさっ
と見過ごしてしまいそうなところがありました。おそろおそろはいり、あいさつも
そこそこに週一度お手伝いに来られている清水さんより紙すきの仕方を教わり手伝
いました。お昼食をとりながらの交流会。1人1人の自己紹介を通して音楽が大
好きな方、電車に乗ってここまで来られる方など、ここではそれぞれに明るく一生
懸命にがんばっていらっしゃる姿を感じると同時に、私はまだまだ認識が薄いとい
う事を改めて、考えさせられました。労働センターで発行されている“Weeds
ウィズ”という立派な通信紙（頂きました）一人でも多くの人に読んで欲しいと
思います。

泗水地区運営委員長 田 中



2月23日、私達
泗水地区運営委員
5名は労働セン
ターを訪問しまし
た。5名のうち4
名は初めての訪問
で、少々緊張気味
だったのですが、
とても気さくに迎
えていただき、セ
ンター紹介のスラ
イドを見ているう

ちに、気持ちがほぐれていくのが分かりました。

最初は、作業のお手伝いをしようということで計画した訪問だったのですが、そ
の日は作業のない日で午前中の約2時間、ゆっくりとお話をする事ができまし
た。本来なら、施設で生活する方が行政面での保障も大きいということを知り、あ
えて自立を志し、社会参加を果たそうとされておられる姿に、私達の方が勇気づけ
られる思いでした。

今、泗水小学校では牛乳パックを集めておらず、又、私達の生協とも牛乳パック
の取引がなくなるということで、とても残念だったのですが、倉田さんに「これか
らは、福祉の方で交流したい。」と明るく言われたのが、とても印象的でした。

帰りの車中で「今度はお弁当を持って来たいね。」と自然に話が出るほど皆、訪
問できてよかったと思ったようでした。今回のみにとどまらず、今後も折に触れて
交流ができたと思っています。

最後に、センターの皆さん、本当にありがとうございました。

シリーズ14

アルコール依存症を知る

(12)病的嫉妬

妻が浮気をしているのではないかという考えに悩まされる。軽い場合には、確証がないので一人で苦しむのみであるが、ひどくなると根拠はないのに信じ込んでしまうという妄想にまで発展する。そうすると、妻の後をつける、暴力を振るう、衣服を調べるなどという異常な行動に及ぶ。

《まとめ》

心の中の「健康な部分」と「病的な部分」とを見分けるべきである。酒は止めた、い、家族にもずいぶん迷惑を掛けてきたというのは、健康な心である。飲んでも構わない、悪いのは回りだというような考えは病的なもので、飲酒問題を見えなくして病気をさらに進行させるように働く。アルコール依存症について学び、他の人の体験談をよく聞いて、事実をごまかして飲酒を続けようとする自分の心と闘い、自分の姿をありのままに認めていくことが回復への第一歩である。

アルコール依存症からの回復

アルコール依存症は回復はあっても治癒のない病気だと言われている。いったんこの病気になってしまえば、その進行の程度に応じて、絶対に治らない部分が出て来る。すでに述べたように、飲酒に対してコントロールの効かない体質は一生治ることはない。アルコールさえ口にしなければ、その他の点では病気になる前とまったく変わる事がない、これがもっとも後遺症の少ない回復の仕方といえよう。しかし、この程度でとどまっている人は少なく、なんらかのアルコール関連の後遺症を残す事が多い。肝硬変や糖尿病など重症になると完全に治らない体の病気もいくつかある。また、離婚、失職などの社会的な損失も、そのほとんどはもとに戻らない。だから、後遺症の少ないうちにできるだけ早く病気に気がついて、アルコールをやめることが大切である。失った後で、「しまった!」と思っても遅いのである。

1 断酒継続のためにすべきこと

アルコール依存症になると、それ以外のさまざまなアルコール関連障害も併発するのが普通である。回復について考える場合には、それら全体を考慮に入れておかねばならない。とはいっても、酒を断たない限り回復は絶対に有り得ないし、単に飲まないでいるというだけでも実に大変な事である。この事さえ実行できれば治療の大半は終わったと言っても過言ではないだろう。その意味では、断酒継続を当面の目標とすべきである。そのためには、どんな事に気をつけたらよいであろうか。

■AAや断酒会に出席すること

AAや断酒会に出席している人の方が、断酒率が高らかに良いと言うのは、多くの研究の示すところである。自分の悩みを分かってくれる仲間がいるところでは、アルコールは止められないと言ってよいであろう。他人に対する批判や説教をせず、自分自身の正直な体験談が語られている会を選んで出席するようにするとよい。

■酒は飲まないと宣言すること

飲まない仲間を作ることも大切だが、もう一つ忘れてならないのは、飲み友達と

は縁を切る事である。そして、「酒好き」と言う評判を、「飲まない人」と言う定評に置き換えていく努力をすることが大事である。

■小さな成功を積み重ねること

はじめのうちは1日飲まないでいると言う事が実に大変である。10年止めるとか、一生飲まないとか言う、目標はいつまでも達成できず、気の休まる事がない。今日一日断酒を当面の目標にして、日々成功の喜びを味わっていくようにしたほうが良い。最終目標は大きく持ち、当面の目標は小刻みにすると良い。これは大きな仕事を成し遂げる場合に、誰もがやっていることである。（次号へ続く）

アルコール依存症者の生の声

久鳥 雅樹

以前にも書いた様に、私は死ぬまで治癒しないという「アルコール依存症」にかかってしまいました。死ぬまで治癒はないと言われていますが、アルコールさえ口にしなければ以前の身体の状態と全く変わりなく普通の生活を送ることができます。と、簡単に言いますが一旦この病気にかかってしまえばその簡単なことが大変困難なことになってきます。私は、この病気で菊陽病院という精神病院に3回入院しました。初回入院の時は、他のアルコール患者の人から私が「アルコール依存症患者」だとは思われていなく、精神病患者だと思われていたらしく最初は話も出来ない状態でした。その後、何日かたってから看護師さんに連れられて断酒会の部屋に行って紹介され、菊陽断酒会に入会させられました。

私自身あまり断酒会には、入会したくありませんでした。それは何故かと言うと、酒を止める気など全く無かったからです。でも、菊陽会に入会して色々アルコールに対して学習していく中で、アルコールが如何に身体のある所を痛めつけるかが分かりました。

菊陽会では、早朝6時30分から早朝運動があり、グラウンドに出てラジオ体操の後ジョギングするのですが、私の場合皆さんも見ての通りとてもじゃないけど、みんなに付いていけないのでグラウンドを3～4週走って部屋に帰って来ていましたが、病棟に着くまでに40段程の階段があり一人では階段を昇るのは無理なので、一人仲良しの友達が重たい私を担いで昇り降りをしていてくれました。

そんな中、院内ではAAミーティングや大津例会という断酒会の会合があっていましたが、当時の私には全くといってよいほど興味がなく出席していませんでした。そして、退院近くになって水前寺の中川例会を紹介されました。しばらくは通っていましたが、私にはムイでいなく、段々足が速ざかっていきました。それから、又、飲み始めたのは。そうしているうちに、連続飲酒が始まり自分でも訳が分からなくなり2度目の再入院を自分から進んでしました。初回入院の時とは又雰囲気違っていたし、いろんな患者さんがいてそれなりに楽しく遊んだり学習したりソフトボール等をやっていましたが、2度目となると私の考えも少しは変わっていたらしくAAに毎回出席するようになっていました。それは自分自身に対して「これじゃいけない」とおもいはじめたからです。断酒会は少しでも飲酒したことを話すと、説教され、何だかいやだなあと思っていましたが、AAだとそんなことは一切無くその時間に話されたことは絶対外にはもらさないという約束があるからで

す。これは、AA全体の伝統であり、個人のプライバシーは絶対守らなければならないという約束があるからです。その事を破ったときはAAには参加できなくなるし、プライバシーを侵害したということで例えその人が出席したことで各個人が話したいことも話せなくなるからです。断酒会も厳しいけど、AAはそれ以上に厳しいところもあります。AAに出席していて最初のうちは、お客さんみたいにしていたのですが、慣れてくると今度は司会が回ってきます。司会といってもAAハンドブックを集まった人達で回し読みして、司会者がテーマを出しそれに沿って各人が発言するのですが、主に酒にまつわる話で時には聞くのも恐ろしい話が出てきます。私が初めて出席したときも物凄い強烈な話が飛び出してきて、怯えていたことを思い出します。その内容を本当は書きたいのですが、これはあくまでもプライバシーの問題ですので控えさせてもらいます。

さて、ここで私の入院中の失敗談を書くことにしましょう。初回入院の時は外泊中に飲酒はしなかったのですが、2～3回目の入院中の外泊中に飲酒したのはいいのですが、それが病院に帰ったところ看護婦にバレてしまい、一日独房に寝かされたことがありました。最初バレた時は非常にショックでしたが、2回、3回とやってみると開き直って自分から独房の中に入っていました。すると、看護士さんが一言「失敗したようだね、くよくよしなくてもいいから、一晚だけその中で寝とき」と声を掛けて後は朝までぐっすり眠ってしまいました。精神科の患者さんが何か起こして独房に入れられるときは、嚴重にカギを掛けて出られないようにしてあるのですが、私達アルコール患者の場合だとよっぽとひどくないかぎり、そんな事はされません。そして、一晚が過ぎると朝から担当看護婦と主治医の先生に呼び出されて、何故飲酒したのかいろいろ聞かれますが、初めての時は無言でしたが、2回・3回と繰り返す度に本当に開き直って「俺はアル中なんだから、飲むのが当たり前でしょうが」と言います。すると、先生たちは「君は何のために入院しているのかな」と言われます。そういう会話が30分位続きますが結局、何の解決もしないまま終わります。この前菊陽病院に入院したとき、感じたことは、菊陽会全体がだらけてしまっていて全く面白くありませんでした。「こんな病院もう絶対こない」と思う位だらけてしまっていました。看護士や看護婦・精神科の患者さんと喧嘩した事、いろんな思い出がありますが、もう2度とあんな所には行きたくありません。と、言うことは用心して飲まないようにすればいいのですが、これだけは自信がありません。今、私が考えていることは飲んだら飲んだでいいじゃないか、又翌日からやり直せばいい事。と考えています。くよくよしからって何も変わりません。そう思っています。

話しは変わりますが、昨年暮れにTVで上映された「今夜すてきなBARで」（柴田恭兵・浅野ゆう子）の番組を見ていたのですが、あの番組は主演の柴田恭兵が、アル中役で出ていたのですが、私があの番組を見ていて感じたことは、本当の幻覚症状とはあんなものではありませんでした。それを見ていて私はおかしくなって笑いました。実際に私自身が経験しているからです。だから、私にとってあれは子供だましの様なものです。それに最後の方に立派に立ち直るシーンがありましたが、あんな風に立ち直れるのはほんのわずかであって、たいていの人が何度もスリップして入退院を繰り返すのが実態です。そんな事を思いながらあのTVを見ていました。

今月のCDベスト10

このベスト10は、緒方が選んだランキングしたものです。

「曲名」	「アーティスト名」
1, 「Secret Night -It's My Treat-」	WANDS
2, 「Just believe in love」	ZARD
3, 「HELLO」	福山雅治
4, 「TRY ME ～私を信じて～」 安室 奈美恵 WITH スーパー・モンキーズ	
5, 「masquerade」	trf
6, 「もっと もっと」	篠原涼子
7, 「ら・ら・ら」	大黒摩季
8, 「や・ば・い」	KENJIRO
9, 「奇跡の地球(ほし)」	桑田佳祐&Mr, Children
10, 「everybody goes」	Mr, Children

オススメの曲

- ★「Secret Night ～It's My Treat～」 WANDS
- ★「Just believe in love」 ZARD
- ★「TRY ME ～私を信じて～」 安室 奈美恵 WITH スーパー・モンキーズ
- ★「HELLO」 福山雅治
- ★「や・ば・い」 KENJIRO
- ★「もっと もっと」 篠原涼子
- ★「ら・ら・ら」 大黒摩季
- ★「masquerade」 trf

みんないい曲ばかりでとくにベスト3は、オススメでその他には、安室 奈美恵の「TRY ME」乗りがいい曲です。ロングヒットするのはまちがいないと思います。この4曲を聞いてみて下さい。他の曲も今、売れている曲ばかりなので聞いてみて下さい。

22校に聞きました

いつも牛乳パック回収にご協力いただきありがとうございます。牛乳パック回収運動も山梨県で始まり今年で10年目になりました。現在、全国平均で20パーセントの回収率になってきました。また、牛乳パック回収運動を通じ、環境教育の一環として授業にも取り入れられる学校も増えてきました。

しかし、牛乳パック回収運動だけではリサイクルにはなりません。回収された牛乳パックを再生し、再利用する事でリサイクルになるのではないのでしょうか。すなわちリサイクルとは、牛乳パック回収が入口で、牛乳パック混入の再生紙を利用する事が出口だと思います。

環境教育の一環としても子供たちが集めた牛乳パックを労働センターが回収し整理作業をして製紙会社で再生紙のトイレットペーパーになって、学校で使っているトイレットペーパーになれば、物を大切にする心が見えてくると思います。

そこで、学校で使うトイレットペーパーだけでも牛乳パック混入の物を利用していただくために、熊本市の方に働きかけて行く一歩として、牛乳パック回収運動をしている学校にアケートをご協力いただきましたので、結果をご報告します。

<アンケートへのご協力ありがとうございました>

1、現在ご使用のトイレットペーパーは再生紙ですか

はい	いいえ
17校	5校

2、現在ご使用のトイレットペーパーの仕入れ先は

22校 熊本市

3、牛乳パック混入再生紙のトイレットペーパーを使用したいですか

したい	したくない
22校	0

4、今後、3の商品を評価はどうされますか

使用している	使用するべきである	使用しない	わからない
21校		1校	

5、ご意見をお聞かせください

- ・牛乳パックに限らず、生産する段階からリサイクルの事を考慮した製造、販売ができるように運動したらいいと思う。
- ・環境教育の一環として、再生紙利用を呼びかけていきたい。
- ・市の単価契約により、購入しているため市の意向による（学校では決定できない）
- ・4の質問については単価が下がって来れば使用したい。

2月のパック回収から

2日 平野様	0.8 K
6日 キッチン岡田	2.2 K
7日 ヤマギシ	28.5 K
松橋養護学校	91.9 K
託麻原小学校	116.0 K
山の内小学校	42.4 K
東町小学校	90.1 K
尾の上小学校	87.8 K
合志小学校	78.2 K
西合志東小学校	23.9 K
8日 西原小学校	21.5 K
池田さん宅	11.3 K
9日 個人	0.4 K
10日 個人	2.2 K
13日 池田さん宅	2.6 K
14日 サンリー菊陽寿屋	211.0 K
南ヶ丘小学校	59.0 K
麻生田小学校	82.0 K
ヤマギシ	8.0 K
岡田コーヒー	33.0 K
山の内小学校	46.4 K
15日 帯山小学校	22.4 K
ソロプチミスト	11.2 K
16日 ひかり幼稚園	86.0 K
第2ぎんなん作業所	7.1 K
18日 月出小学校	25.7 K
20日 個人	0.3 K
有機の会	36.8 K
ヤマギシ	11.4 K
21日 国際ソロプチミスト熊本	16.5 K
泗水小学校	3.7 K
稲田小学校	32.4 K
画図小学校	131.0 K
向山小学校	54.8 K
出水小学校	42.6 K
泗水東小学校	8.4 K
24日 キッチン岡田	0.8 K

28日 秋津小学校	118.6 K
桜木小学校	38.7 K
帯山中学校	508.6 K
楠小学校	280.6 K
池田小学校	28.4 k
ヤマギシ	15.5 K
あきた作業所	39.1 K
平島さん宅	0.2 k

2月の日報から

1日 紙すき
2日 ワープロ 紙すき
10日 販売
16日 便利堂講演会参加
23日 共生社北支部泗水地区交流会 福祉展搬入
24日 会議 福祉展販売(26日迄)

編集後記

日一日と春の気配を感じる今日この頃。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。現在、風邪が猛威を振るっていますが、風邪にかかっていませんか。

さて、労働センターも4月で10周年を迎えますが、メンバー一同張り切って作業に取り組んでいます。牛乳パックが減少しつつあります。このままでは、センターの運営も大変苦しくなります。皆さん、今までどうりご声援のほど宜しくお願いします。

なお、今月の「Weeds」は選挙特集を組んでみました。立候補されている皆さんの意気込みなどを掲載しました。皆さん、候補者の皆さんにもご声援の程宜しくお願いします。皆さんの原稿もどしどし募集しています。

編集長 久島 雅樹